

# 常長と 川崎町

The story of  
SAMURAI diplomat



400年前、戦場を駆けめぐり  
ついには宮城の大地を蹴って世界に船出した男がいた。  
これは彼の奇跡の物語である。



支倉常長 幼少く青年期

上楯城の少年・常長は、川崎町のゆたかな自然に遊び、やがて、才覚を発揮した。

400年以上前、政宗公の使者として太平洋・大西洋を渡り、日本初となる通商外交の国際舞台で活躍した人、それが「支倉常長」です。川崎町は、この世界史に名を残す支倉常長のふるさとです。

### 支倉与市(のちの常長)、宮城・支倉へ

1570年(※1)、支倉常長は出羽国置賜郡立石村(現在の山形県米沢市立石)で、米沢伊達家・中級家臣の支倉常成の子に生まれました。時は戦国の世となり、この2年後には織田信長が室町幕府を滅ぼしています。

常長の幼名は与市(ち五郎左衛門、六右衛門)といい、父の支倉常成は、伊達政宗公の父・伊達輝宗公に仕えていました。常長が生まれたとき政宗公は5歳でした。

常長の父の兄・支倉紀伊守時正に子が多かったため、父常成は常長を8歳のころのときに時正の養子にしています。そし

常長12歳のころ、織田信長が本能寺の変で自害し、その5年後には豊臣秀吉が西日本を支配しました。

常長は15歳ごろに初陣を迎え、伊達3傑と呼ばれた伊達家の重臣・茂庭綱元に従い相馬軍と戦いました。22歳のときに政宗公の小田原参陣にも従い、また「行路偵察」の大任を果たしてその情報収集能力を発揮したといわれています。

### 政宗公に見出され朝鮮出兵で活躍

常長はその後も、葛西・大崎一揆での宮崎城攻めで政宗公の使いを果たします。1592年、太閤秀吉は朝鮮征伐(文禄の役)のため、配下の武将の連合軍14万を朝鮮半島に送り込みます。政宗公も3000の軍勢を率いて出兵し、常長も義父とともに従軍して、中級家臣ながら「御手明衆」(※2)20名のなかの一人に列せられています。

連合軍の中で政宗軍は「派手な出で立ち」が注目され、その姿が「伊達者」の語源になったといわれます。この朝鮮出兵でも常長は情報収集などの面で活躍したといわれています。

※1 常長の出生を「1571年」とする説もあります。 ※2 「御手明衆」は、伊達家臣から、政宗公が選んだ「特別な命令を遂行する」ための部隊。

て義父・時正が支倉村に領地替えとなり、現在の川崎町支倉地区の「上楯城」に移ります。こうして支倉常長は、その少年時代を支倉村の美しい自然の中で過ごすこととなります。

### 茂庭綱元の下で初陣やがて戦功をあげる

上楯城は、養祖父の支倉常正が1545年に築城した連郭式(本丸・二の丸・三の丸を直線的に並べた形式)の山城で、現在も土塁や空堀の跡が残されています。川崎町の豊かな自然の中、常長は野山を駆けまわる元気な子として育ったことでしょう。



滝前不動の藤(上) 樹齢400年以上。常長もここで遊んでいたかもしれません(国指定天然記念物)。所在地/柴田郡川崎町大字支倉字滝前

圓長山円福寺(下) 平安期の創建と伝えられ、支倉氏の菩提寺であることから常長の墓所として有力です。所在地/柴田郡川崎町大字支倉字宿154



川崎城址(前川城・川崎要害)(城山公園) 砂金氏の居城。砂金氏は後年に途絶し、川崎伊達氏が居城としました。所在地/柴田郡川崎町大字前川字館山西5

1596年、義父時正に嫡男が生まれたことから、常長は政宗公に本家と対等な分家を認められています。しかし実父常成は、以前に起こした鍋丸事件(砂金氏との領地争い)がもとで切腹となり、常長もその連座責任を問われ、一時は追放処分となっています。



青根温泉不忘閣 不忘閣は伊達家の「御殿湯」(別荘)。政宗や常長も青根温泉で戦いの疲れをいやしたことでしょう。国登録有形文化財。所在地/柴田郡川崎町青根温泉



政宗公騎馬像 青根温泉 青根温泉不忘閣にあるミニチュア騎馬像で、仙台城の政宗公騎馬像の元になったとされます。



政宗公騎馬像(仙台城) 仙台市の象徴にもなっている伊達政宗公騎馬像は小室達の作で、1964年に復元されました。



仙台城(復元モデル) 1601年に岩出山から仙台に移った政宗公は、1610年に仙台城をほぼ完成させます。写真は、仙台城本丸。(CG制作「青葉城資料展示館」)



上楯城跡 <本丸跡(右上)、空堀(左上)、土塁(左下)> 常長の養祖父が築城し、父が整備した連郭式山城。常長は少年時代をこの城で過ごしました。所在地/柴田郡川崎町大字支倉字館山





支倉常長 使節任命と渡航

政宗公の密命を胸に、  
太平洋・大西洋を渡った  
支倉六右衛門常長。

中級武士の常長が、なぜ遣欧使節に選ばれたかについては諸説があります。しかし常長がヨーロッパへと渡航し、世界中に領国をもつ大国スペインと通商交渉を行った史実は、世界史上の快挙として輝いています。

サン・ファン・パウティスタ号と使者・支倉常長

1613年10月28日。サン・ファン・パウティスタ号(洗礼者聖ヨハネの意味)は、牡鹿郡月浦(現・石巻市)を出帆します。全長約55呎、幅約11呎、排水量5000トンは当時、国内最大級の帆船でした。

乗員は船の建造と航海を指揮したスペイン提督ビスカイノ、遣欧使節の派遣を政宗公に進言し常長とともに大使に任せられた宣教師ソテロ、日本人のリーダーが支倉六右衛門常長。そして幕府・伊達家の者とスペイン人船員、商人など計180余名。常長44歳のことです。

天下取りの野望か  
大地震・津波の復興策か

世紀の一大事業のリーダーに、なぜ中級武士・支倉常長が選ばれたのでしょうか。失敗した場合に伊達家の責任を回避するためだったといわれていますが、伊達家文書「貞山公治家記録」での常長の序列を見ると、政宗公が常長の能力を高く評価していたとも考えられています。

慶長遣欧使節の目的は、宣教師の派遣依頼とメキシコ(スペイン領)との通商許可を得ることでした。使節派遣は江戸幕府の了承を得て行われましたが、一説に政宗公には天下取りの野望があったともい

われています。大国スペインとつながり、その軍力を後ろ盾に討幕の機会をうかがうためだったというのです。

しかし近年では「慶長三陸大地震・津波」からの復興策だったとも考えられています。1611年暮れに発生した大地震により、仙台領は沿岸部で死者5000人ともいわれる津波被害を受けています。そのため、使節船建造のため近隣から30000人の労役を雇い、木材を近隣各地から取り寄せるなど、緊急の復興雇用対策と、貿易での経済復興をめざしたという考えです。慶長遣欧使節は、現在とよく似た状況の中で実施されていたのです。

出帆から約90日、メキシコに到着した使節一行のうち、商人たちの大部分はメキシコに留まり、常長ら約30名が4か月半後、スペイン艦隊に乗りかえてヨーロッパへと向かっています。

政宗公の名代として  
スペイン国王・ローマ教皇に謁見

スペイン到着は1614年10月5日で、ソテロの故郷セビリアに立ち寄った

後、マドリッド入りし、翌年1月30日、ついにスペイン国王フェリペ3世への謁見を果たします。常長はその場で「宣教師派遣とメキシコとの貿易を希望する」旨が書かれた政宗の書状を渡しますが、国王の許可が得られぬまま一行は8か月間をマドリッドで過ごしています。

この間に常長は洗礼を受けて、国王の信頼を得ようとしています。洗礼名は国王と聖人の名前を冠した「ドン・フェリペ・フランシスコ・ファシクラ・ロクエモン」でした。

常長は交渉を進めるため、さらにイタリアへと向かいます。10月29日、ローマ入市の行進を行い、11月3日に教皇パウルス5世の公的な謁見式に臨んでいます。謁見式で常長は貴族位を受け、8名にローマ市民権が授与されるなど大歓迎を受けています。

そして教皇から宣教師派遣の許しを得た常長は、フェリペ国王との貿易交渉のため再びマドリッドへと戻るのです。



ローマ教皇パウルス5世像 常長像とともに使節が持ち帰った肖像画。(国宝・仙台市博物館蔵)



スペインでの支倉常長の様子を再現。(宮城県慶長使節船ミュージアム提供)



サン・ファン・パウティスタ号建造現場での様子を再現したもの。(宮城県慶長使節船ミュージアム提供)

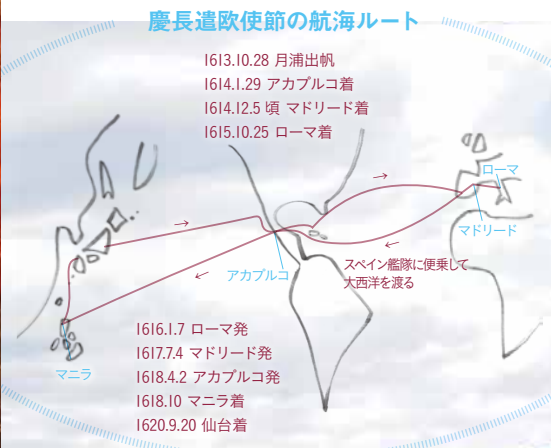
**支倉常長(左側)** 政宗公の名代として、日本人一行を取り仕切っていました。

**ルイス・ソテロ(中央右側)** キリスト教を広めるスペイン人宣教師。語学に秀で、慶長遣欧使節を政宗公に進言したといわれます。

**セバスチャン・ビスカイノ(右)** スペイン大使。日本の東方沖にある金・銀島をさがすのが目的でした。太平洋横断航海にはスペインの操船技術が不可欠でした。



支倉常長像 ヨーロッパから持ち帰った自身の肖像画。黒い服に身を包み、ロザリオを手に十字架のキリストに祈りをささげています。実在の日本人を描いた油絵としては最古の作品といわれます。(国宝・仙台市博物館蔵)



ローマ市民権証書 羊皮紙製で、上部左右に7つの紋章を並べ、左上に支倉家の紋章「逆刃に違い矢」が描かれています。ラテン語で「支倉常長にローマ市の公民権を与え、貴族に加える」ことが金泥で書かれています。使節一行がローマでたいへんな歓迎を受けたことがわかります。(国宝・仙台市博物館蔵)

川崎町のお土産に「初(ショ)コラータ」を!



5個入り  
800円(税込)

宮城県川崎町ゆかりの偉人・支倉常長（はせくらつねなが）は、日本人で初めてチョコレートを口にした人物といわれています。当時のヨーロッパでは栄養補給の薬で液状だったチョコレート。常長が体験した異国の嗜好品が甘いお菓子として誕生しましたしっとりとした生地でスペイン産のチョコレートを包み込んだ焼き菓子は是非お召し上がりください!  
(川崎町観光協会などで好評販売中)

**マンガ**  
ふるさとの偉人  
**支倉常長**

川崎町のHPでは無料でご覧いただけます!

常長の遺志をつく  
川崎キャラクター  
「チョコえもん」

常長が日本人で初めて「チョコ」を口にしたことと、六右衛門の「えもん」を合わせて名付けられました。犬の姿は、常長の絵に登場していることから、忠誠心も象徴しています。常長の遺志を継ぎチョコレートのおいしさを現代に伝えるながら、川崎町の観光PRに活躍中です!

★チョコえもん インスタグラム  
<https://instagram.com/chocoemonkawasaki>

★チョコえもん X (旧 Twitter)  
[https://twitter.com/chocoemon\\_kawa](https://twitter.com/chocoemon_kawa)

★チョコえもん フェイスブック  
こちらのQRコードからアクセス—>

年間忘れ去られてしまい、明治維新を経て岩倉具視の使節がベネツィアで資料を見せられ、ようやくその業績に光があてられるのです。世界情勢の中で、慶長遣欧使節は失敗する運命だったのかもしれませんが。しかしアジアの植民地化をめざしていた世界最強のスペインを相手に、堂々と交渉に臨んだ支倉常長の働きは、まさに歴史的快挙です。帰国後の常長は現在の川崎町支倉の地に戻った後に病死したとも伝えられています。常長の墓は宮城県など数か所があり、川崎町円福寺と仙台市光明寺の碑には「51歳没」、大郷町の碑には「84歳没」と刻まれ、ほかに現・岩手県奥州市水沢区の領地内に埋葬されたとの説もあります。いずれが常長の墓なのか、晩年をどのように過ごしたか：いまま謎のままです。

支倉常長 年譜	西暦	和暦	支倉常長のできごと	関連するできごと	※月日は西暦
1567	永祿10	8月	伊達政宗公生まれる		
1570	元亀元		支倉常成の子として、現在の山形県米沢市立石に生まれる。幼名・与市		
1573	天正元		織田信長、室町幕府を滅ぼす		
1577	天正5		伯父、支倉紀伊守時正の養子となる (五郎左衛門)		
1579	天正7		支倉時正、米沢より支倉村に所替えとなる		
1582	天正10		本能寺の変で織田信長が自害する		
1587	天正15		豊臣秀吉、太閤として西日本を支配		
1588	天正16		茂庭綱元に従い初陣、相馬軍と戦う		
1590	天正18		常長、茂庭綱元に従い、小田原に参陣 政宗公、小田原参陣		
1591	天正19		葛西・大崎の一揆が起り、政宗公の使いを務める 政宗公、岩出山に移住		
1592	文祿元		政宗公、名護屋港より朝鮮に出陣 朝鮮出兵にて六右衛門常長が御手明衆の1人として従軍する		
1596	慶長元		義父時正に実子が生まれ、常長は600石の分家となる		
1600	慶長5		政宗公は千代を仙台と改め、築城を開始 徳川家康、関ヶ原の戦い		
1603	慶長8		徳川家康、征夷大将軍に任ぜられ、江戸幕府を開く		
1610	慶長15		仙台城ほぼ完成。砂金氏が前川城 (川崎城) を築城		
1611	慶長16		年末、慶長三陸大地震発生。大津波襲来		
1612	慶長17		幕府の直轄領にキリシタン禁教令。実父常成、切腹		
1613	慶長18		8月、宣教師ソテロとともに仙台城に呼び出される 10月28日、社麿郡月浦 (現・石巻市) からサン・ファン・パウティスタ号で出帆		
1614	慶長19		1月29日、メキシコ・アカブルコ着 6月、スペイン艦隊に便乗し大西洋を渡る 10月、スペイン上陸。12月、首都マドリッドに入る		
1615	慶長20 元和元		1月30日、スペイン国王フェリペ3世に謁見 2月17日、王立跣足派女子修道院付属教会で洗礼を受ける 8月22日、ローマへ出発 (途中フランスのサン・トロベ上陸) 11月3日、ローマ教皇・パウルス5世に謁見		
1617	元和3		マドリッドにもどり、ソテロとともにフェリペ国王と交渉を続けるが長期化 帰国を言い渡され、7月4日マドリッドを離れる		
1620	元和6		メキシコ・アカブルコ〜フィリピン・マニラ経由で、長崎に帰港		
1621	元和7		常長、亡くなる		
1636	寛永13		政宗公が亡くなる		



マリア観音 (右上) 円福寺の脇仏として、仏像に模して祀られていることから隠れキリシタンの証拠とされています。  
圓長山円福寺 (右下) 明治期に火災で焼失し現在地に再建されました。ご本尊の塑像の延命地藏菩薩は火災がなければ国宝級といわれる貴重なもの。  
常長の墓 (左) 円福寺境内には、キリシタンゆかりのイカリの印がある石碑があり、常長の墓も有力とされています。所在地/柴田郡川崎町大字支倉字宿 154



# 支倉常長 交渉失敗し帰国

## ドン・フェリペ・フランシスコ・ファシクラ・ロクエモン、帰国。

快挙をたたえられ、ヒーローとなるはずだった常長。しかし、時代の運命で通商交渉に失敗し、失意のうちに帰国します。そんな常長を、川崎町の自然は変わらぬに迎えたことでしょうか。

### 覚悟の洗礼を受けるも交渉に失敗

フェリペ3世は、イエズス会(ソテロのフランシスコ会と対立していた)や、インディアス顧問会議から日本の禁教令やキリシタン弾圧、ソテロ報告の中のウソや政宗公が地方の領主であることなど不利な情報を伝えられており、結局貿易を許可しませんでした。

スペインは通商の条件としてキリスト教への改宗を求めたといわれ、洗礼を受けることで交渉成功をめざした常長。それにも関わらず帰国を命じられた胸の内は、いかばかりだったでしょうか。

1617年7月4日、ついに常長は

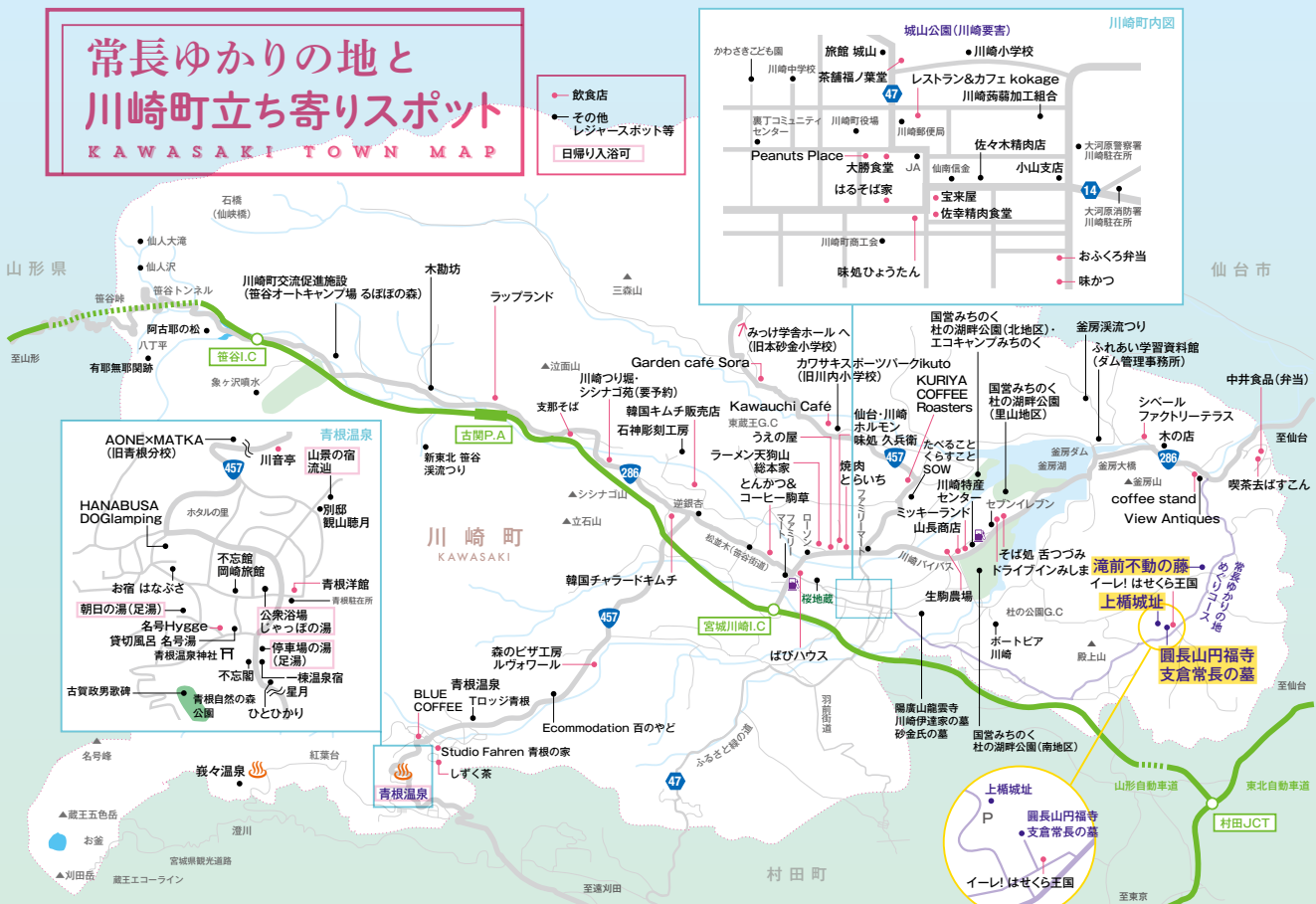
### 悲運の晩年 常長の墓の謎

常長が仙台に戻ったのは1620年9月20日。出帆から7年の月日が流れ、すでに政宗公も幕府の厳しい禁教令に従わざるを得ず、政宗公は常長に謹慎を申し渡します。持ち帰った品々も没収されました。

このため慶長遣欧使節は、その後250

# 常長ゆかりの地と 川崎町立ち寄りスポット

KAWASAKI TOWN MAP



## 支倉常長まつり

6月上旬(日)開催

支倉常長ゆかりのふるさと川崎町では、毎年6月「支倉常長まつり」を開催しています。サン・ファン・パウティスト号が率いた慶長遣欧使節団が練り歩き、盛大に行われるおまつりです。ほかにも、武者行列や、楽しいステージや特産品のおもてなしなど、にぎやかに開催されます。ぜひ来てくださいね!!



## 支倉常長隊、見参!

チョコえもんとともに大活躍している「みやぎ川崎 慶長遣欧使節団支倉常長隊」。愛すべき「川崎町」を広く周知し、支倉常長をはじめとする慶長遣欧使節団の偉業と功績を伝えるため、現世に今、蘇る!



### 川崎町キャラクターグッズ



ピンバッジ(支倉常長・チョコえもん)

ラバーストラップ(支倉常長・チョコえもん)

[取扱い先]川崎町観光協会  
富岡支所  
イーレ!!はせくら王国

[問]0224-84-6681  
[問]0224-86-2011  
[問]0224-51-9131



川崎町に  
遊びにきてチョコ!!

お問い合わせ  
[発行]川崎町 地域振興課・生涯学習課  
TEL:0224-84-2117  
FAX:0224-84-6789